

# 女性部ニュース

## J A長野県女性のつどいに参加して

J A長野八ヶ岳女性部 副部長 井出 まゆみ

10月24日、伊那市文化会館で「J A長野県女性のつどい」が開催されました。

今年度、J A長野八ヶ岳女性部では「仲間づくり」の活動発表として、寸劇とスコップ三味線を行ないました。

スコップ三味線は、スコップと栓抜きを用いて音楽に合わせて津軽三味線の真似をして演奏するものです。今静かなブームということですが、マイスコップには肩紐をつけたり、アクセサリやスコップカバーなども作り、スコップには見えません。

活動発表が始まり、会館内は熱気に溢



れていました。緊張しながらステージ脇へ移動し、出番を待ちました。10月は、まだ農作業が終わらない時期であり、計4回の練習も全員が揃うことができず、リハーサルなしの本番を迎えました。ドキドキしながら寸劇が始まり、山本リンダの「狙いうち」を前女性部長小池美佐江さんの指揮に合わせて、17名で演奏して無事に終えることができました。

緊張がほぐれた演奏後、講演「堀六平氏のおはなし音楽会」を聞きました。最初の曲は、母の手作りのおにぎりが忘れられないという曲でした。歌の合間のおしゃべりで、私たちの体をいたわる言葉もかけてくださいました。堀氏は、安曇野出身のフォークシンガーです。大学に入学しましたが親からの仕送りの授業料を遊びに使って除籍となってしまい、帰省後、農業のかたわら音楽活動を行ない、今に至るとのことでした。歌の中で、両親に対する懺悔も垣間見ることもできましたし、故郷を思う気持ちも感じることができました。

つどいの閉会式が終わり、「また練習しましょう！」と参加者から声をかけていただきました。これを機に「スコップ三味線愛好会」ができればと思いつつ帰路につきましました。